

問1 三重県の統計において、工業生産額が10兆円を超える高い水準となっている主な理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 内陸部に位置する地理的特性を活かし、高速道路のインターチェンジ付近に精密機械やIC（統合回路）の工場が集中しているから。 | 2. 県北部の四日市市などが中京工業地帯の一角を担い、石油化学コンビナートや自動車関連の工場が集積しているから。 | 3. 県全域が京浜工業地帯に含まれており、東京市場向けの電気機器や出版・印刷業が極めて盛んであるから。 | 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作と、それに関連する食品加工業が産業の大部分を占めているから。 |
|---|--|---|---|

問2 石川県で生産されている伝統的工芸品である輪島塗が、他の地域の漆器と比較して「堅牢（頑丈）である」と評価される理由として、その製造工程における特徴を説明したものとして適切なものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 京都の絹織物の技術を応用し、漆器の表面に薄い布を貼り付けて補強しているため。 | 2. 岩手県から産出される良質な鉄分を漆に配合し、金属のような強度を持たせているため。 | 3. 下地塗りの段階で、地元で採れる珪藻土を焼いた「地の粉」を漆に混ぜて塗り固めているため。 | 4. 福島県の豊かな森林資源から得られる特殊な樹脂を、仕上げの段階で何層にも重ねて塗るため。 |
|---|---|--|--|

問3 北陸地方の気候の特徴を説明した文として、年間の降水量の変化や季節風の影響を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 標高が高いため一年を通じて気温が低く、夏と冬の気温差は大きい。年間降水量は1000mm程度と少ない。 | 2. 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多く、12月や1月の降水量が300mmを超えるなど、冬の降水量が夏より多い。 | 3. 夏は南東からの季節風によって雨が多くなるが、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、雨や雪が非常に少ない。 | 4. 一年を通じて降水量が少なく、冬は乾燥して晴天の日が多いが、夏は季節風の影響で蒸し暑くなる。 |
|---|---|--|--|

問4 愛知県や神奈川県と並んで製造品出荷額が非常に高い静岡県の工業について述べた文として、統計的な特徴をふまえた適切なものを選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 富士市や富士宮市を中心に、情報通信機器や半導体などの電気機械の生産が最も大きな割合を占めている。 | 2. 浜松市などを中心にオートバイや自動車部品の生産が盛んで、輸送用機械が産業の中心となっている。 | 3. 茶の栽培が盛んであるため、製造品出荷額の内訳では食料品工業が輸送用機械を上回っている。 | 4. 臨海部の石油コンビナートによる石油・石炭製品の出荷額が、県全体の半分以上を占めている。 |
|---|---|--|--|

問5 日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 山梨県 | 3. 鹿児島県 | 4. 青森県 |
|--------|--------|---------|--------|

問6 北陸新幹線が通過する各県の統計において、多くの面積を険しい山地が占める中、沿線の平野部では農業や工業が発展しています。福井県から富山県を経て長野県へと至る交通網の整備において、その険しい地形から大きな障壁となってきた、中部地方北部に位置する山脈について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 木曽山脈は、福井県から石川県にかけての海岸線に沿って広がる山脈であり、北陸地方の気候に影響を与えている。 | 2. 奥羽山脈は、中部地方を南北に縦断しており、北陸新幹線のトンネル建設において最大の難所となった。 | 3. 飛騨山脈は、新潟・富山・岐阜・長野の県境付近に位置する峻険な山脈であり、北アルプスと呼ばれている。 | 4. 赤石山脈は、北陸新幹線の沿線に位置し、関東地方と中部地方を分ける脊梁山脈として機能している。 |
|---|--|--|---|

問7 中京工業地帯の歴史的な産業構造の変化と現在の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. かつては繊維工業が盛んであったが、現在は自動車などの輸送用機械の生産が中心となっている。 | 2. かつては造船業が盛んであったが、現在は内陸部での食料品工業や電子部品の生産が中心となっている。 | 3. かつては官営の製鉄所を中心に鉄鋼業が発展したが、現在はIC（集積回路）の生産が中心となっている。 | 4. かつては京浜工業地帯と並ぶ印刷・出版業の拠点であったが、現在は石油化学コンビナートが中心となっている。 |
|---|--|---|--|

問8 日本の農業産出額の構成を示した統計において、米の産出額に比べて、野菜と果実の産出額が非常に高い割合を占めている内陸の県があります。この県で行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 温暖な気候を活かして、冬でも温暖な時期に野菜を早く育てる促成栽培が行われている | 2. 広大な平野と豊富な水資源を活かして、単作による大規模な稲作が行われている | 3. 都市近郊の立地を活かして、新鮮な野菜を素早く消費地へ届ける近郊農業が行われている | 4. 標高の高い地域で、夏の冷涼な気候を活かして野菜の出荷時期を遅らせる栽培が行われている |
|--|---|---|---|

問9 富山県の自然環境と産業の結びつきについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 温暖な気候を活かした茶の栽培や施設園芸農業が発達しており、人口密度の高さを背景に小売業の年間販売額も大きい。 | 2. 急峻な地形を流れる河川を利用して水力発電が発達し、豊富な水資源を背景に、耕地面積のほとんどを水田とする稲作が展開されている。 | 3. 内陸部の盆地特有の気候を活かした果樹栽培が盛んであり、水力発電よりも高原野菜の出荷額に特色がある。 | 4. 広大な越後平野を利用して日本最大の米の生産量を誇るが、冬の積雪による湿田が多いため、野菜の産出額も非常に多い。 |
|---|---|--|--|

問10 愛知県を中心とする中京工業地帯の統計において、工業出荷額の54.2%という過半数の割合を占めている、この地域を象徴する製造分野の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 金属工業 | 2. 電気機械 | 3. 輸送用機械 | 4. 化学工業 |
|---------|---------|----------|---------|

問11 中部地方における農業の特徴に関する説明として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 長野県では平水域を生かしてのりや貝類の養殖が行われ、静岡県では冬の冷涼な気候を生かして茶の促成栽培が行われている。 | 2. 長野県では冬の温暖な気候を生かしてトマトなどの促成栽培が行われ、静岡県では平野の水田を生かしてレタスの栽培が行われている。 | 3. 長野県では水はけのよい台地を生かして茶の栽培が行われ、静岡県では夏の冷涼な気候を生かしてトマトの抑制栽培が行われている。 | 4. 長野県では夏でも涼しい高原の気候を生かしてレタスなどの抑制栽培が行われ、静岡県では台地などの地形を生かして茶の栽培が行われている。 |
|--|--|---|--|